

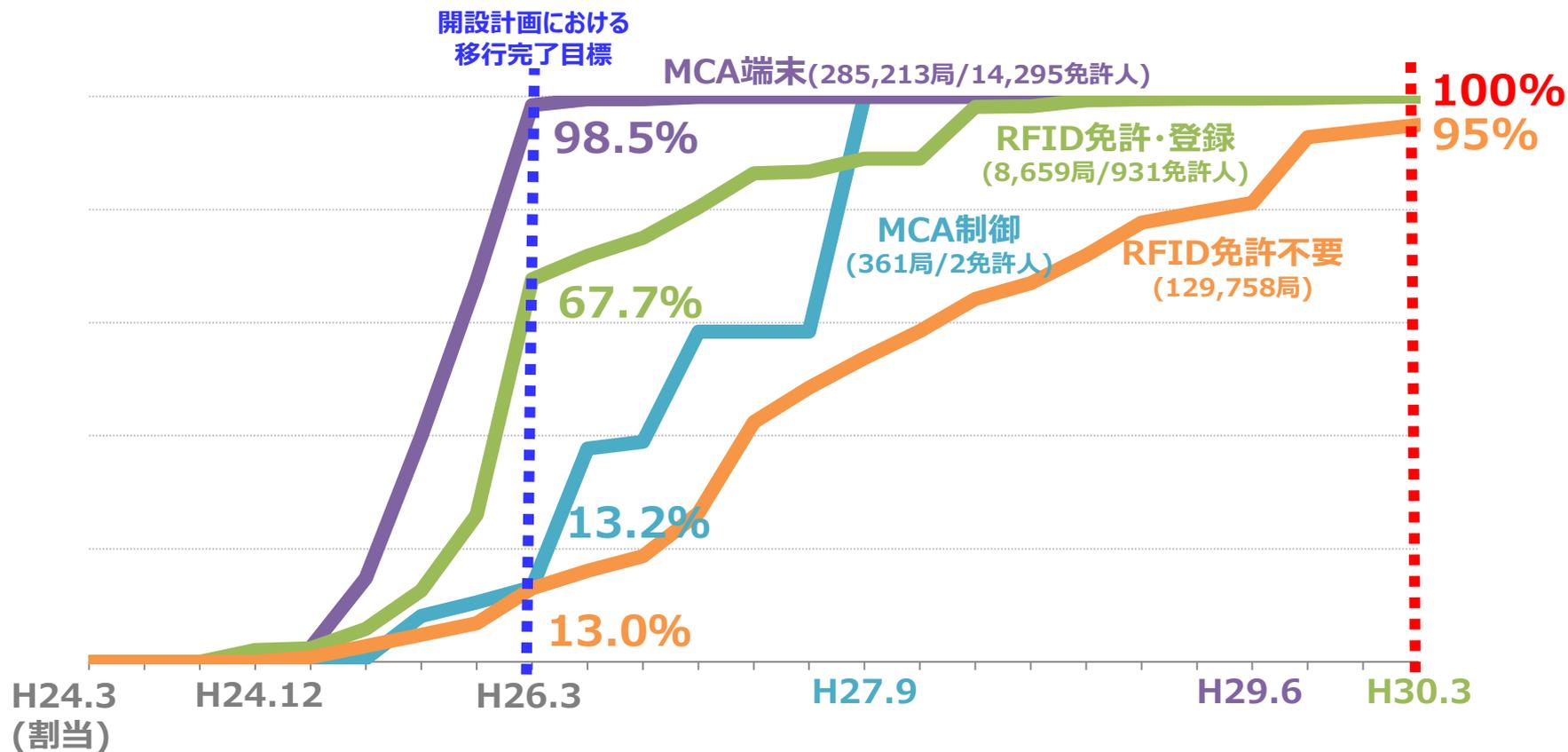
電波有効利用成長戦略懇談会 ヒアリング資料

ソフトバンク株式会社
2018年5月17日

900MHz帯終了促進措置の実施状況

- ・ 移行対象の周波数の使用期限は、**平成30年3月31日まで**
- ・ 開設計画(平成24年3月)における**移行完了目標は平成26年3月末** (RFID免許不要局を除く)

- ・ 平成27年9月 **MCA制御局の移行完了**、平成29年6月 **MCA端末局の移行完了**
- ・ 平成30年3月末 **RFID免許・登録局も移行完了**、**RFID免許不要局は95%移行完了**



900MHz帯では、現行制度の下、免許人(団体)、納入業者等の関係機関からの要望に対し柔軟に対応(工事期日や期間など)することで、一定の促進効果があったと考えています。実際に移行遅れとなった事象は、費用面の問題ではなく、品質面や切替時期の調整により難航したものです。

MCA

平成26年度末の移行目標に対して、端末98.5%、制御局13.2%(1.5%未移行の端末のための残存)の移行完了を達成し、終了促進措置は円滑に推移したと理解

移行遅れの事由

端末局

開発
検証

切替
時期

移行
拒否

制御局

端末
影響

大規模な免許人

新・MCAシステムへの切替えのための、免許人及び納入業者とのプログラム開発・検証等に時間を要した

免許人様によっては事業・稼働を止められないケースがあり、切替可能な時期が限られるために、切替調整に時間を要した(工場、配送業など)

移行前と比較して新周波数帯の通信不調を理由に、移行完了を納得しない免許人が存在した

通信の相手方となるMCA端末局の一部について移行が進まなかったことにより、制御局についても平成27年度第2四半期まで移行が遅延した

RFID

平成26年度末の移行目標に対して、免許局・登録局67.7%(免許不要局は平成30年3月の利用期限まで残存を想定)の移行完了を達成し、終了促進措置は概ね円滑に推移したと理解

移行遅れの事由

免許
・
登録局

商流
把握

開発
検証

切替
時期

大規模な免許人

RFID業界に対しての見識が無かったことから、同業界の商流を理解することに時間を要した

新・RFIDシステムへの切替えのための、免許人及び納入業者とのプログラム開発・検証等に時間を要した

免許人様によっては事業・稼働を止められないケースがあり、切替可能な時期が限られるために、切替調整に時間を要した(工場、配送業など)

- 900MHzの移行においては、民々の協議で土休日夜間の稼働費等の実費分を考慮したことで、比較的スムーズに移行ができたと考えている
- 一方で、移行難航免許人は、移行費用の支弁で動く免許人ではなく、単純に費用を上乗せすることによる移行促進効果はなかったと考える
- また、制度によるインセンティブを設定することは、いたずらに費用だけが増大し、増額があることによって既存免許人との交渉等が長引く可能性もあり、移行が促進されないリスクもあると考えている



上乗せ費用の効果有無はケースバイケースであり、そのやり方は民々の協議で柔軟に決定する必要があり、国が開設指針等で一律に決めることはなじまない

- (今までの開設指針では認められていない) 移行費用の割計期限直前の減算については、上記同様、国で一律に決める必要はないと考えるが、開設指針において、民々の協議を通じて合意した場合に減算の導入を可能とするかどうかを、移行対象業務の特性を勘案しながら都度検討するのがよいと考える

※減算の導入によって、既存免許人との合意形成がかえって遅れ、結果的に移行自体も遅れてしまうことがないように留意して検討する必要あり

EOF